

連載講座: 「国際標準化戦略としての今後の標準化人材育成」の完了によせて

画像電子学会 国際標準化教育研究会

画像電子学会において2007年に設立された国際標準化教育研究会が、定例の研究会および年次大会の企画セッションにおいて議論してきた多くの課題の中から“国際標準化戦略としての今後の標準化人材育成”に関連する課題を集め、2012年3月から以下の8回の連載を行った。

- 1) Vol.41, No.2, 国際標準化および標準化人材育成の評価モデル
- 2) Vol.41, No.3, ICES (International Committee for Education about Standardization)のこれまでの活動と今後の展開
- 3) Vol.41, No.4, ITUにおける標準化人材育成のこれまでの活動と今後の展開
- 4) Vol.41, No.5, Balanced Standardization
- 5) Vol.41, No.6, 戦略が求められる企業の標準化人材育成
- 6) Vol.42, No.1, 戦略的標準化人材育成に求められる国や大学の対応
- 7) Vol.42, No.2, 標準化人材に必要なスキルを評価するためのスキル標準
- 8) Vol.42, No.3, 「知の魂」に基づく国際標準化教育プログラムの設計と大学院教育への適用

国際標準化戦略としての標準化人材育成を企業、大学、国、標準化組織という多くの視点から捉え、国内および国際における最近の関連活動を紹介するとともに、標準化活動および標準化人材育成活動の評価、並びに標準化人材の評価にも言及した特徴ある連載となった。

この連載の中で初めて公開された標準化人材のスキル標準については、その開発を行った経済産業省委託のプロジェクトが2013年2月に活動を終了したため、その後の国際対応および利用者への対応の中立的な組織として、本学会の国際標準化教育研究会の中に標準化活動スキル標準スタディグループ (Study Group on Skill Standard for Standardization (SG-SSS)) を設けて、次の活動を行うことにした。

- ◎ 開発済みの“スキル標準—標準化人材に必要なスキルの評価”に関する広報と普及支援を図る。
- ◎ “スキル標準—標準化人材に必要なスキルの評価”の利用者からのフィードバックを受けて、規定内容の改訂案を検討する。
- ◎ “スキル標準—標準化人材に必要なスキルの評価”の国際対応を行い、国際的視野に立った規定内容の改訂案を検討し、関連国際メンバとの議論を行う。
- ◎ 学会からの費用援助は受けず、エキスパートによるボランティア活動に基づく作業とする。主な議論はメーリングリスト上でを行い、必要に応じて face-to-face の打合せを行う。

なお、経済産業省から本件スキル標準に関するフォローアップ等の体制が明らかにされた後には、SG-SSSの活動は休止してよいと考えている。また、SG-SSSの活動については、電子情報通信学会の国際標準化教育検討委員会からの支援も予定されている。

本連載はこの8回をもって完了するが、直近においても次のような国際および国内における関係者の会合が行われ、または計画されており、“国際標準化戦略としての今後の標準化人材育成”に関する議論はさらに高まりをみせているといえる。

- a) Workshop on Education about Standardization, ITU Kaleidoscope 2013, 2013-04-25
- b) ICES Conference on Industry Requirements for Standards Education, 2013-06-12/13
- c) WSC Academic Day on Standardization education for future managers, 2013-06-14
- d) 本学会第41回年次大会 企画セッション, 標準化人材のための環境整備, 2013-06-23

(文責 国士舘大学 小町 祐史)